

あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387
TEL (086) 698-6511 第148号 2011.1
ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

<11月定例会の報告>

27日、当事者のAさん(40歳・男性)から発病してからの闘病生活、福祉の先進国デンマークでの研修報告とピアサポーターとしての活動内容のお話を聞かせていただきました。

「高校時代成績が悪く、友人ともトラブルがあり、中退。再入学を果たすがひきこもりがはじまる。アルバイト先の女性に失恋後、すべて世の中と結びついている妄想がはじまり、22歳でまきびを受診、23歳でアルバイトしながら大検に合格、理容学校で頑張りすぎ再発、入院。家族会で病気の解説ビデオをみてはじめて自分の病気を自覚、完治はないが寛解(症状は残っているもののなんとか生活できる状態)は可能といわれた。

就労=社会復帰と考え、求職活動したがハンディや偏見から就職定着できず、病院と自宅の往復のみで生活圏域の狭さを感じ36歳で自宅から通える場所を探してあすなろ福祉会と出会う。そこでソフトバレーを知り、レギュラーとして活躍。ピアサポート(当事者が自分の経験を活かして可能な範囲で当事者を支援すること)講座を受け当事者グループにも所属した。

3年前、ピアサポーターとして入院中の男性患者さんの退院への援助活動をまかさね話し相手になることに。最初は退院に難色を示していたご本人が退院を希望されたとき、自分のことのように喜べた。

2週間に一度、自宅への訪問で趣味の話や本人が望む好きな場所へ一緒に

出かけるなど、在宅生活を支援することができた。

彼への支援の過程で人に優しくなれ、自分が変わっていったことを感じられ、人の役に立てたことが自分の喜びになった。

デンマークでの研修：社会保障制度が充実していてうらやましかった。障害年金が月20万以上あり公的な通所施設、アクティビティといわれるレクが充実していて利用者は楽しんでいる。

リカバリーの大切さ：「リカバリー」とは病いを克服するだけでなく病いを抱えながらも自分らしさを取り戻せること。病気の自覚がもてるようになり客観的に自分を見られるようになると半分回復したも同然。いかに自分の将来に希望をもてるかがカギ。

自分の場合、親やスタッフなど周囲の理解があったことに恵まれた。就労にチャレンジしたが再発しない為には就労しないことといわれた。今はありのままの生活を受け入れ楽しめている。

無理しないでなにかしようという意欲がでてくるまでのんびり待つくらいのゆとりが必要。

みなさん、いろいろ困難な状況にあると思いますが希望を捨てず、道が開けるのを信じてほしいと思います。」

お話のあと色々な質問や我が家にも訪ねてきて欲しいといった要望もありました。青淵さん、元気のでるお話ありがとうございました。

<12月定例会の報告>

19日、年間の研修報告と山部さんか

らお話をいただきました。

研修に参加された大橋会長と山下さんから中国ブロック、ぜんせいれん岡山全国大会、みんなねっと岩手大会の報告がありました。研修をとおして、うつや認知症の方も増え精神疾患はもはや国民的課題であり人権に関わる問題（＝ノーマライゼーション）であること、心の病は回復する可能性が十分あること、社会的入院を解消するためにはまだ所得補償を始め様々な生活を支援するサービスとしての社会資源や医療・地域の理解が足りないこと、その中でもACT・障がい者手帳を利用した開拓など地域医療・福祉の取り組みがすこしずつでも進んできていること、地域で生活するためにはいつでもどこでも相談を受けられる体制が保障され、家族としては病いを隠さず地域の一員として積極的に署名活動などネットワークを力に声を挙げていくこと、などの必要性があげられました。

山部さんから

「子供のころには身近に「心病んだ人」がいて怖がられることもなく普通に挨拶していたが、いつの間にか町からいなくなっていた。息子は学生時代に発病、言っていることが世間ずれしていたが違和感はなかった。当時知りたかったのは医学的知識ではなく家族としての対応の仕方だったが情報が乏しかった。病気ではあるが一人としての人格は尊厳され信頼してあげるべき。私は妄想と分かっているにもかかわらず耳を傾けた。年金も受給していなかったら生活できなかつた。私が気分転換にマインドの仲間に頼んで外出することもあった。入浴を嫌がるのは裸になること＝無防備な状態は本人にとってとても不安、と医師に言われなるほどと思っ

た。割り切らないと病気との長い付き合いはできない。それと仲間は大事、マインドの人たちに助けられ幸せだなと感じた。たくさん大切なことを教えてくれる為に生まれてきてくれたんだなと思います。」

という貴重なお話をいただきました。

お知らせ

- ① 1月定例会は22日（土）午前11時30分より新年会で会食をしながら交流を深めたいと思います。
会場：寿（ひさ）和風懐石
倉敷市阿知2-14-3（倉敷駅から東へ徒歩5分）専用駐車場はありませんのでなるべく公共交通機関をご利用ください。お車でお越しの方は旧天満屋跡地駐車場（会場の北側50m）で集合となります。
電話番号：(086) 421-1498
会費：3150円（飲み物代別）
参加希望の方は1月18日までに事務局ソーシャルワーカーへ交通手段もあわせてご連絡ください。



- ② 2月定例会は20日（土）午後1時30分よりマインドホールにて「家族の悩みを共有しよう」がテーマです。特にこれまで家族会に参加されたことのない方は見学でも構いませんのでお気軽にお越しください。